

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	BLUE PLANETS		
○保護者評価実施期間	R6年12月2日		～ R6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	R7年1月6日		～ R7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いアセスメント(フォーマル/インフォーマル)を元に子どもの特性を把握し、それに応じた支援計画を作成し、個別療育を実施している。	新しい検査や療育の技法など、最新情報を収集し、研修に参加している。内容によっては研修後に伝達講習をしている。また、個別療育でペアでスタッフが入るなど行い、技術指導を実践している。また、療育に関する書籍を定期購入し、スタッフで共有している。	今後も最新の情報を得て、研修に参加して、事業所内研修を行っていく。職員間で情報を共有しながら、より良い支援を実践していく。
2	関係機関との連携(医療機関/保健所/保育園・幼稚園/幼児まどか教室など)	支援開始前より保護者さまの了解のもと、健診の情報を収集し、事前に予測立てて受入れをしている。また、主治医への療育経過報告を行って、指示受けし療育を行っている。個別療育が主であるため、小集団が必要な場合は、幼児まどかを紹介する等行い、連携して療育を行っている。	今後も関係機関と情報交換や連携を図りながら、より良い支援につなげていく。
3	母子通園であるため、直接保護者さまとやり取りし、お子さまへの関わり方や家庭での取組みなども提案でき、家庭と連携した療育ができる。	家庭や園での様子を直接、聞き取りしながら状況確認を行っている。その中で家庭や園でもできる、取り入れやすい支援の助言を行っている。また、一緒に療育に参加してもらいながら、悩みや気になることについて一緒に考えていけるようにしている。	今後も療育の様子を見てもらいながら、信頼関係を深め、家庭と連携して支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さま一人一人に合わせた個別療育が主であるため、小集団療育で他のお子さんとの関わりが少ない。	一人一人に合わせた個別療育を行っているため、グループでの実施が困難。	発達上の課題が合うお子さまについては、ペアセラピーを実施している。また、小集団活動が必要なお子さまは、幼児まどか教室や別の事業所の提案も行っていく。
2	インクルージョンへの取組みとして、保育園や幼稚園や地域との交流がない。また、父母の会や保護者会の開催などは行っていない。	施設の特徴として個別療育を主としているため、実施していない。また、全体へ情報発信していない。	個別療育にて個の発達促進を図り、過ごしている保育園や幼稚園で皆と一緒に活動できることを増やし、インクルージョンを進めていく。また、保護者同士の集まりを希望される場合は、既存の親の会の紹介を行っている。
3	災害対策マニュアルや感染症対策マニュアルなどの周知が保護者さまに徹底されていない。	マニュアルの量も多いため、掲示する場所や置いておく場所が限られている。	保護者さまが見やすい場所に1つずつ置き、読まれたら順次、別のマニュアルを置き確認してもらおう。また、SNSを用いて確認してもらおうように案内する。